

担当事務所: 福岡県土整備事務所

主要地方道 福岡太宰府線(別府工区) (改築系道路事業)

1.事業概要

1)路線の概要

主要地方道福岡太宰府線は、福岡市東区箱崎の国道3号を起点とし、太宰府市大字北谷の主要地方道筑紫野古賀線に至る延長約17kmの幹線道路であり、福岡市と志免町、宇美町などを連絡している。別府工区は、一般県道別府比恵線と交差する区間(五斗蔵交差点)であり、志免町、宇美町などから県庁方面、博多・天神方面へのアクセスの要衝となる重要な区間である。

2)事業の必要性

①当該区間は、朝・夕ピーク時を中心に著しい渋滞が発生しており、円滑な交通が阻害されているため、幹線道路としての機能が十分に発揮されていない。また、五斗蔵交差点は地域の主要渋滞箇所指定されるなど、早急な渋滞対策が望まれる交差点である。

[最大渋滞長: 西向き(二又瀬方向)1,900m、東向き(志免町役場方向)1,480m 【R1.6.5 観測】]

②当該区間は、糟屋地域と県庁方面、博多・天神方面を連絡する重要な区間であり、主要なバス路線となっているものの、渋滞発生に伴う定時性の低下により、通勤通学をはじめとする沿線住民の日常生活の利便性向上が喫緊の課題となっている。

③当該交差点部付近では、交通事故が30件(H26~H29)発生しており、死亡事故も発生している。また、当該区間は志免西小学校の通学路に指定されているものの、歩道未設置区間や歩道幅員の狭小区間があるため危険な状況であり、通学児童をはじめとする歩行者の安全確保が必要な区間である。

[死傷事故率:1,052.9件/億台キロ、重大事故率:35.1件/億台キロ、死亡事故率:35.1件/億台キロ]

3)事業により期待される効果

①(交通混雑の緩和)

当該区間の整備に伴う交通容量の拡大により、交通渋滞の緩和が見込まれるとともに、幹線道路としての機能向上が図られる。

②(住民生活の利便性向上)

交通渋滞の緩和により、沿線地域から県庁方面、博多駅・天神方面へのアクセス性が向上され、通勤通学をはじめとする沿線住民の日常生活の利便性が向上する。

[当該区間付近の通過時間: 西向き:朝ピーク時 8.4分⇒5.6分:約3割減
東向き:夕ピーク時 12.0分⇒9.7分:約2割減]

③(安全安心な生活環境の確保)

歩道未設置区間における歩道の設置、歩道幅員狭小区間における十分な歩道幅員が確保されることで、通学児童をはじめとする歩行者の安全性の向上が図られる。

2.現道の状況

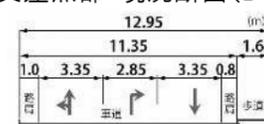
最小幅員: W=6.5(11.2)m

現況交通量(車線数): 17,024台/日(2車線)(大型車混入率 14.8%)【R1.6.5 実測】

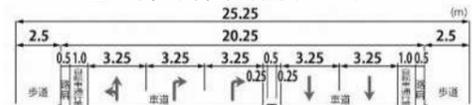
混雑度: 1.47

【横断図】

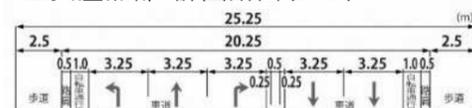
■交差点部 現況断面(B-B)



■交差点部 計画断面(A-A)



■交差点部 計画断面(B-B)



3.計画内容

事業箇所: 福岡県糟屋郡志免町別府北3丁目～志免町別府3丁目

道路の区分・設計速度: 第4種第1級 V=50 km/h

延長・幅員: L=0.6km、W=13.0(22.5)m

全体事業費: 2,200百万円

事業着手年度: 令和3年度

事業完成予定年度: 令和10年度

計画交通量(車線数): 15,600~24,800台/日(4車線)【R12 推計】

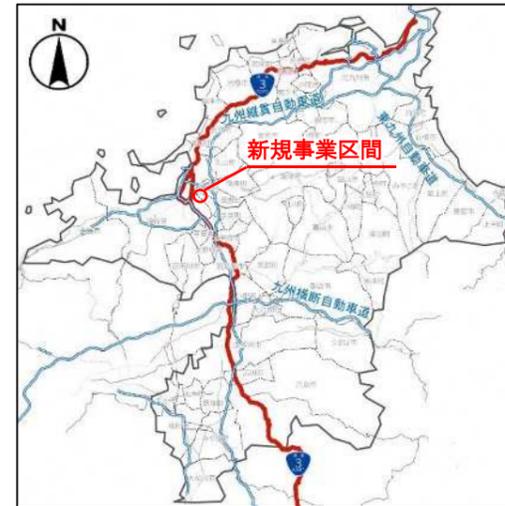
費用便益比(B/C): 1.53

4.その他特機事項

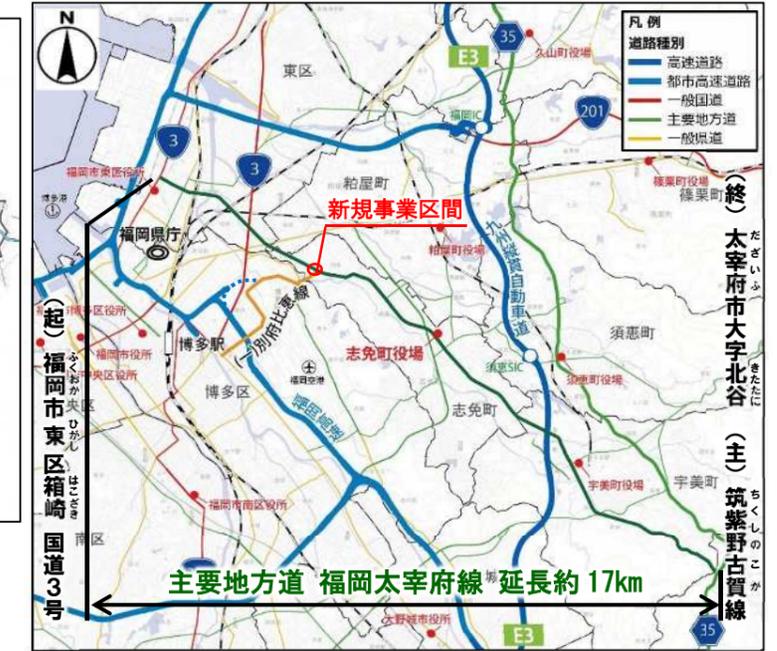
陳情書・要望書: 令和2年10月6日
令和2年10月13日

鏡町内会、別府町内会、別府一町内会から志免町に提出
志免町から提出

【位置図】



【路線図】



【平面図】



【現況写真】



写真①現道の渋滞(志免町役場⇒五斗蔵交差点)

写真②現道の渋滞(東区役所⇒五斗蔵交差点)

写真③歩道未設置区間の通行状況